

# 予算の審査から、一般会計予算に対する討論

## 予算の審査から

今定例会では、平成19年度補正予算については3月6日に、平成20年度当初予算については3月13日から28日までの間、予算特別委員会を開催して審査を行いました(保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算については、駅周辺再開発等特別委員会別途審査)。ここでは、その主な内容と平成20年度一般会計当初予算に対する各会派の討論内容についてお知らせします。

### 平成19年度補正予算

#### 一般会計

【説明】執行実績及び見込額を精査して2億774万2千円を減額し、歳入歳出総額をそれぞれ58億5千251万2千円とするもの。

#### 【主な質疑項目】

- ・生ごみ電動処理機購入補助金の例年の倍以上の執行による予算不足と今年度中の今後の助成について

#### 【結果】賛成全員で可決

#### 国民健康保険特別会計

下水道事業特別会計  
受託水道事業特別会計  
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計

#### 【結果】以上、賛成全員で可決

#### 地再開発事業特別会計

### 平成20年度当初予算

#### 一般会計

【説明】歳入歳出予算の総額をそれぞれ61億3千万円とするもの。債務負担行為は情報システム再構築委託料など33件を予定。地方債は保谷駅前公民館・図書館整備事業など19事業、53億8千320万円の借入限度額を予定。一時借入金最高額は60億円と定める。

#### 【主な質疑項目】

- ・人にやさしいまちづくり条例に伴う寄附金は雑入とした方がいいのでは。
- ・罰則のないボイ捨て・路上喫煙禁止と今までのマナーアップキャンペーンの違いは。
- ・地域密着型の小規模多機能型介護施設等と市民ニーズ施設の人材確保について

【結果】以上、賛成全員で可決

- ・分別収集による柳泉園組合負担金、東京たま広域資源循環組合負担金の減額効果は。
- ・生活保護世帯数の増加と就労支援の取り組みについて
- ・1千万円を超える元気をだせ商店街補助金について
- ・子どもの権利条例にオンブズ・パーソン制度を設定する意味について
- ・ひきこもり・ニート対策でのプライバシーの保護は
- ・保谷駅前公民館・図書館利用者の駐車場について
- ・市内駐輪場の利用料金統一について
- ・住宅用火災警報器の助成対象年齢制限(75歳以上)について
- ・道路整備計画に基づく道路整備等の積極的な将来像を
- ・ドッグランに市民の協力が得られないのはなぜか。
- ・中学校給食への市民一般の賛同の必要性について
- ・学校プールの汚水が雨水管排水になつていた理由は。
- ・図書館のICTタグ資料管理システムの効果について

【結果】賛成多数で可決

国民健康保険特別会計  
下水道事業特別会計  
後期高齢者医療特別会計  
受託水道事業特別会計  
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計  
老人保健(医療)特別会計  
駐車場事業特別会計  
介護保険特別会計  
保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計

【結果】以上、賛成全員で可決

## 一般会計予算に対する討論

対 点数稼ぎの大型予算  
大風呂敷予算に反対  
無所属 森 てるお

市長就任以来、市長が一番大切と考える施策は何かを尋ねてきたが、任期最後の予算になつても不明だ。施策を総花的に並べてどんな西東京市にしたいのか、単に、マニフェストの点数稼ぎのための大風呂敷予算としか見えない。

私は「いのちとくらし」を大切に行政を期待している。政治の役割は所得の再分配だ。それを根底に、自助を基本にして、自立できない人を支えることが必要だ。自助を求める以上、自治体関係者は身を切る努力が必要で、議員や市長等の報酬、給料を引き上げている場合ではない。

社会的弱者が生きやすい町をつくり、だれもが安心して暮らせる住みやすい町にするべきだ。この観点からは坂口市政も予算も及第点ではない。国が切り捨てる「いのちとくらし」を守る役割は西東京市が担うべきだ。

賛成 積極予算に対し、将来の負担を憂慮する  
西東京市議会 無所属 田中 のりあき

平成20年度予算は、前年度比約25億9千万円、4.4%増の歳入歳出61億3千万円である。財政健全化法による4指標は良好であるが、基礎的財政収支は均衡を欠いており、また国保会計・下水道会計への繰出金を考慮した経常収支比率は105%となり、財政調整基金を取り崩している。また本年度は、新市建設計画事業に伴う合併特例債の発行は約倍増の26億円、市債総額は前年度比15倍の53億8千万円である。7割が必要額に措置される合併特例債も、交付税の実額が保証されてはおらず、起債管理にはより慎重な対応が必要である。保谷駅南口再開発事業についてもスケジュールの遅れなど、さらなる懸案事項も生じている。しかし、ひばりヶ丘駅北口のバリアフリー化につながる都市計画道路整備等の計画を考慮し、本案に賛成をする。

賛成 財政健全化で、計画事業の総仕上げを  
民主党・社民クラブ 相馬 和弘

20年度予算は総合計画前期5カ年の最終年度であり、新市建設計画も残すところ3年という節目の年である。また、坂口市長にとってマニフェストを掲げ当選された、その政策目標の達成に向けた仕上げの予算である。歳入、歳出とも61億3千万円と合併後、最高額の積算予算となっている。

計画事業では障害者福祉総合センターの設計委託料、各保育園、児童館、学童クラブなどの設計委託料、改修・整備事業、公園整備事業など、また、新規・レベルアップ事業では市民協働推進センター、多文化共生センター、中学校完全給食環境整備調査の実施などが予算化され、市民ニーズに的確にこたえている。

さらに地域経営戦略プランの見直しにより新たな指標を掲げ、健全財政に向けた取り組みが示されていることを評価し、賛成する。

賛成 健康診査無料制など市民要望生かす予算  
日本共産党西東京市議団 藤岡 智明

一般健診・特定健診・後期高齢者健診などを無料にし、健診内容も充実させたこと、前立腺がん検診は5年に1回を2年に1回と拡充したこと、妊産婦健診助成は2回から5回へと充実したこと、学習支援員は定員と時間を増やし柔軟に対応すること、中学校完全給食の具体化、耐震診断・改修助成、非核・平和都

賛成 報酬等審議会を早期に開催せよ!  
生活者ネットワーク 大友 かく子

このたびの予算は、多くの市民が目指している。特別職の報酬引き上げが入っていることを理由に反対し、否決により暫定予算になったとしても、引き上げ分は執行される仕組みになつていて、市民の意見は反映できないことがわかった。他にも課題はあるものの、(仮称)市民協働推進センターと(仮称)多文化共生センターの設置や焼却炉撤去、震災用井戸改修、緑のカーテン拡充、母子家庭の自立支援拡充等、評価できる項目も多い。課題を整理し、要望を述べ賛成した。

報酬引き上げに関しては、特別職報酬等審議会の委員報酬が毎年計上されている。市長は審議会を早期に開催し、社会状況や市民意向に沿った見直しをするよう諮問し、公募枠等市民の意見がきちんと反映される形で審議会を開催すべきである。

賛成 健康診査無料制など市民要望生かす予算  
日本共産党西東京市議団 藤岡 智明

市宣言塔改修など市民要望が生かされ、高く評価する。また、児童館、保育園、福祉会館建て替え、障害者福祉総合センター、福祉作業所建設、ひばりヶ丘駅北口整備なども市民要望だ。

三位一体の改革、税制改革の影響で、依然として財政状況は厳しい中で、こうした施策を盛り込んだ予算に賛成する。

なお、国から地方への財源移譲を求め、行財政改革では、市民サービスを後退させないことを求める。

賛成 将来の西東京市像を明確に持った予算を  
無所属 納田 さおり

合併特例期間があと3年となり、新市建設計画の遂行事業を徹底的に取捨選択しなければならない時期に来ている。西東京市の将来像に明確なビジョンを持つて施策を評価すべきである。

そのような観点から、協働推進事業費が大幅に増額(仮称)市民協働推進センターが設立され、市民協働の時代に前進していく姿勢が見えたことを評価したい。また、地域密着型サービス充実等高齢者施策に配慮が見られるが、施策を確実に実施するために人員確保には慎重に努められたい。市内2カ所目の子育てひろばが開設するが、子育てに関する情報発信基地となることを期待する。緑地買取り事業により、2カ所の公園が整備・新設されるが、今後の緑地保全のため緑化基金の復活を強く要望する。

以上、課題はあるものの、総合的に判断して賛成する。